

キャビちゃんのちよつとい話 Vol.2?

H20.6.1発行
作成：スタッフ一同
監修・発行：かだ動物クリニック
tel 0944-56-7100
fax 0944-56-7107

病気シリーズ

てんかん発作

てんかん発作とは痙攣性の発作だけではなく、行動異常なども含む神経的な異常による発作のことをいいます。

原因

てんかん発作は原因によっていくつかに分類されます。特発性てんかんは真性てんかんとも言われ、脳に構造的な病変がなく、脳神経の電気的な異常によるもので、遺伝によるものと推定されています。続発性てんかんは脳の構造的な異常の結果として起こります。例としては水頭症や先天性の脳の奇形、脳腫瘍などがあります。反応性てんかんは脳以外の全身的な異常や過度のストレスによって起こります。例としては低血糖、肝機能障害、腎不全などがあります。

症状

一般的にてんかん発作とは痙攣を起こすものだけと思われがちですが、その他の異常行動も発作に含まれる場合があります。通常知られている痙攣を含む一連の発作は全発作ともいわれ、不安や行動異常を示す前駆症状に次いで実際の発作現象である痙攣や失禁などが起こり、発作後期として異常食欲や行動異常、見当識障害がでる場合もあります。それに対して痙攣は起こさず、落ち着きがなくなったり、突然攻撃性を示したり、一点を見つめボーッとしたりなどの異常は部分発作といわれています。

治療

犬や猫の特発性てんかんの管理は終生関わっていくことが必要になってきます。続発性てんかんや反応性てんかんの場合には原因疾患の治療ができ、症状の改善が望めるものもありますが、特発性てんかんの場合は発作を完全になくすることはできません。通常は抗てんかん薬を投薬し、発作の頻度や重傷度を軽減する治療になりますが、肝臓に負担がかかるため、発作の頻度や生活の質などを考慮して治療方針を決定します。

5月の雨の日でした。「死にそうなんです！」と中学生くらいの男子2人がやって来ました。コメタウン内でネコを2匹保護したというのです。その場に居合わせた方に「病院に連れて行って診てもらったら…」と言われたそうです。タオルの巻かれたそのネコはまだ赤ちゃんでした。体が冷たく呼吸も弱くなっていたので、急いで温めることが必要でした。先の患者さんの診察中だったため、ネコを預かり男子2人は待合室でお待ちいただくことに。処置中2人はソワソワしながら、でも一生懸命にいろいろな話しをしていました。保護した時の状況、ネコの心配はもちろんですが、まだ家の人に話していない…怒られるという自分達の心配。それでもどっちを引きとろうか、名前を何にしようか等々。そして1人の男子はすでにネコと一緒に暮らしている様で、赤ちゃんの時から育てた経験があり「目やにが出るけん、拭いてやらなんぞ」と、もう1人の未経験の男子に教えてあげていました。そんな2人の姿に、他の患者さん達が「あなた達オモシロイね。どうしたと?」「優しいね。すごいね。」と待合室が一体となった時でした。ホントこの2人の勇気と行動力には脱帽です。処置が終わり元気になったということで「これから頑張ります。ありがとうございました。」と帰って行かれましたが、その後もしばらくその話題でもちきりでした。経験のある男子が言っていました。「他のネコと一緒に暮らしているから捨てられてるという事が余計にショックでした」と。“ハッ”と心に残る一言でした。その後の連絡はありません。すくすく元気に育ってくれることを願っています。そして捨てられる犬やネコがいなくなる事を…。



肝臓ケアー

ペットフードの添加物、環境中の様々な物質などワンちゃん・ネコちゃんの身近には肝臓に負担をかけるものがたくさんあります。また治療薬なども負担をかけてしまいます。肝臓が弱ると抵抗力や免疫力が低下します。肝臓はとても我慢強く、なかなか症状を出さない臓器です。できるだけ負担をかけないようフードの添加物や環境中の悪い物質など減らす努力が大切です。治療薬などのように健康のためには排除できない物もありますので、日頃から肝臓を元気にする食材で肝臓を守りましょう。

良質なタンパク質を適量

新鮮なレバーや卵を適量

緑黄色野菜

芽キャベツやキャベツ

納豆・ゴマ など

以上のような食材を積極的に取り入れて肝臓ケアーをし、元気いっぱい毎日にしてあげよう!

* 体に良いものも取りすぎれば毒。量でお分りにならない事はスタッフにお尋ねください。

すっごい!!

4月27日、東京・代々木公園で120匹が一斉に2分間の「おすわり」に挑戦するイベントが行われました。結果は見事119匹が完座! 日本記録達成!!

私もチャレンジしたかったなあ……。あっ、でもきっと脱落した1匹の運命だったことでしょう……。



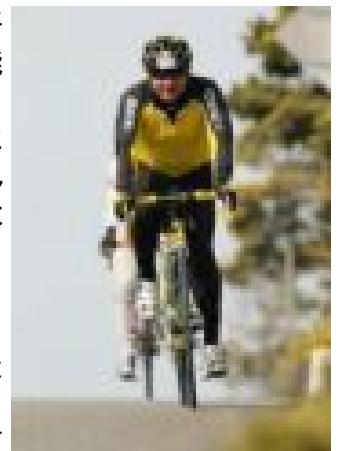
脱メタボリック


今年の春、多くの飼主さんに言われました。「先生、痩せましたね」と。そうなのです！昨年から比べると、約7kgほど痩せました \ (^o^)/
病院を開院して14年ほどになるのですが、年々体重は増え続け...とうとう昨年は75kgになってしまいました。そして、人間ドッグの結果も、**脂肪肝、高血圧、動脈硬化の疑い**と、散々な結果が出てしまいました。このままではいけない思い、ダイエットに挑戦したのです。
ダイエットの基本は食事と運動です。

食事は必要以上に食べないこと。
夜の炭水化物は減らす。
朝ご飯は食べない。(本当はダメです。)

必要以上に食べないとは、「昼だから昼ごはん。」ではなく、お腹がすいた時だけ必要な分を食べるのです。そしてあまり空腹を我慢しないようにしました。ダイエット当初、お腹がすいた時にはドライフルーツなどを少し食べるようにしました。また、1日に1回は満足感が得られるようにしっかり食べました。これは大事な事だそうです。

そして、運動は昨年から自転車を始めました。ロードバイクです。最近では鶴見辰吾が熱中していることで有名になりましたが、ひそかなブームになっています。芸能人の中でもかなり流行っているようです。最初は週に3回ほど朝早く起きて、20kmぐらい走っていましたが(今は少しサボっていますが)。最近はいろいろな大会に参加して100kmぐらい走っています。来年は160km、いずれは220km走れるようになるのが目標です。自転車は何歳になってもできるスポーツで、大会には60歳、70歳の方もたくさん参加されています。皆さんとても元気で、僕がヒーヒー言いながら峠を登っていると、その横を涼しい顔をして抜き去っていかれます。情けないですが、自分もその年になった時、そのくらい元気でいたいと思い、必死に頑張っています。いつも、自転車で峠を登っている時には“どうしてこんな事をしているのだろう...”と後悔しますが、走りきった時の達成感は“また走ろう!”と思ってしまう。先日も阿蘇から二重の峠を登り大観望を通り、小国町まで下って、またさらに黒川温泉を抜けて三愛レストハウスまで登り、阿蘇神社まで戻ってきました。脱メタボリックは達成したのですが、自転車のためには体重をあと5kgほど絞らないといけません。自転車は思いのほかダイエットに有効だと思います。マラソンより膝に負担をかけませんし、長い時間運動ができます。いかがですか、一緒に自転車を始めてみませんか？



 **歯みがきが上手にできなくて悩んでいる飼主さん、いつでもお気軽にご相談ください。**
2月に歯科・眼科の無料検診を行いました。その後、歯みがきを頑張っているワンちゃん・ネコちゃん、そして飼主さんはたくさんいらっしゃると思いますが、皆さん上手にできていますか？嫌がってさせてくれない、最初は良かったけど最近は逃げるようになったなどから、歯みがきをしなくなった飼主さんも多いのでは？歯みがきを上手に長続きさせるコツは『焦らない事』です。ここであきらめずに、もう一度トライしてみませんか？
いつもの歯みがきセットを持って、ワンちゃん・ネコちゃんと一緒にご来院ください。実際にスタッフと一緒に歯みがきトレーニングをしてみましょう。通常の診察と同じようにご来院いただき、受付で「歯みがきトレーニングに来ました」とお話しください。診察のついででも構いませんが、診察の順番と歯みがきトレーニングの順番は別になります。(歯みがきトレーニングは会員様に限り無料になります)

わんこ・にゃんこ日記

事情があって、最近ウチで引きとる事になった加田メヤリー(18歳)。高齢の長毛ネコなので性格はドライでプライドが高いかと思っていましたが、しばらく一緒に暮らしてみると、とても甘ったれな性格であることがわかりました。仕事が終わって自宅に帰るとしばらくの間はストーカーのようについて回り、私がソファに寝転ぶとムリヤリにでもソファに上がってきて横に寝るか、胸の上に乗って寝ます。そして夜は必ず一緒に布団で寝るといった感じです。最初の頃は慣れないせいか、朝4時頃起きて鳴くので大変でしたが、徐々に起きる時間が遅くなり、今では私が起きるまでぐっすり寝るようになりました。残り少ない猫生(?)ではあると思いますが、このまま楽しく過ごせればいいと思います。

